



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



コロナ収束の祈りを込めて

●7月25日 燕市内

新型コロナウイルスの鎮静祈願と、大変な状況で頑張っている皆さんを応援する気持ちを込めて打ち上げられた「がんばろう！つばめ応援花火」。色とりどりの大輪が夏の夜空を彩りました。感染症対策のため無観客で行われ、打ち上げの様子はライブ配信しました。



「ラッキーウッド」小林工業株式会社展が開催中
 ●8月6日～9月20日 産業史料館

創業153年、燕の金属洋食器産業の歴史とも言える歴代製品を一同に展示中。品質と造形美にこだわり抜かれたカトラリーの数々をぜひご覧ください。



ロボキッズが
大会で躍動！
●7月24日 燕市役所

WRO Japan 2021 新潟地区予選会へ4人が参加。つばくろロボキッズ教室で培ったプログラミングの知識を生かし、協力しながら課題へ挑戦しました。



東京2020パラ五輪へ
聖火を送る採火式！
●8月15日 産業史料館

鍛金家人間国宝・玉川宣夫さんと陸上競技のパラアスリート・坂田由香利さんによって聖火が灯されました。開催地東京でも燕の火が大きく燃え上がりますように！



ふるさとの味で
暑中お見舞い申し上げます
●8月5日 第食品株式会社

帰省を自粛する燕市出身の学生たちへ応援物資をお届け。今回はアンケートをもとに、親元を離れて暮らす彼らが思う「ふるさとの懐かしい味」をセレクトしました。

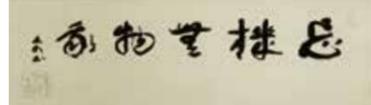
よもやま話

分水良寛史料館

分水良寛史料館
 ☎0256・97・2428
 (月曜日休館)
 ■入館料
 大人300円、
 学生200円、
 小中学生100円
 ※団体割引あり

二人の中村さん

企画展のときは、借用訪問する場合がある。長善館とゆかりのある某家Aの床の間に、明治期に活躍した思想家・中村正直の書が掛けてあった。長善館2代目館主・鈴木楊軒の長男柿園が、正直の「同人社」に学んでいる。正直は、相馬家と関係が深いと言われているが、この相馬家は、新宿の中村屋を興した相馬黒光のことだったか。そんなことを考えながら、某家Bを訪問すると、中村不折の「忘機無物我」の書について尋ねられた。良寛の書の影響を強く受けた不折の書がなぜ某家Bの遺墨の中にあるのか。不折は中村屋の看板を書いた書家で画家としても著名。ちなみに、黒光の自伝「黙移」によれば、叔母は正直の塾で学んだ。また、黒光自身は正直の「同人社」で教えを乞うた女性教育家・岩本善治が創立した明治女学校に入学している。結局、なぜ不折の書が良寛遺墨の中にあるのかは不明。書の意味は「私欲を捨てれば、自他の区別も忘れられる」。なお、後で調べてみると、正直と相馬家の関係は、新宿の中村屋ではなく、養女リクの嫁ぎ先の専修大学創立者の一人相馬永胤家のことであった。



「忘機無物我」不折書

※中村屋…文人サロンとして著名で、おぎわらろくざん たかむらこうたろう、松井須磨子らが集まった。



次への100年に向けて 大河津分水と橋



▲初代大河津橋(右)と2代目大河津橋(左)

大河津分水が通水する2年前の大正9(1920)年に架けられた木橋の写実は昭和16年(1941)ころに撮影されたものです。対岸の大河津地域から五千石地域に向かって、荷車を引きながら渡る人々が列を成している様子が写真に残されており、この橋が地域の大事な交通網としてその役割を果たしてきたことがうかがい知ることができます。また、写真左には建設中の2代目の大河津橋が写っており、老朽化が進んだ初代に代わって、昭和16年にその役割を引き継ぎました。現在の大河津橋は3代目となっています。今でも大河津分水の水量が少ないときには、川底に初代の木橋の杭を見ることができず。なお、大河津橋よりも1年早い大正8(1919)年には渡部橋が、青山士・宮本武之輔たちが活躍した補修工事竣工の昭和6(1931)年には野積橋が、それぞれ架けられました。いずれも初代の橋は木橋であり、現在の橋は2代目となっています。

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.42



こんにちは！スポーツ担当の久保です。
 7月に「第9回東京ヤクルトスワローズカップ少年交流会 燕市予選会」が、吉田第一・第二野球場にて開催されました。強い日差しが照り付ける中、全9チームによる熱い戦いが繰り広げられました。私は、全力で白球を追いかけて輝く選手の姿を、写真に収めていました！
 とにかく暑かったです…。参加選手の皆さん、関係者の皆さん、暑い中本当にお疲れさまでした！優勝チームの『小中川バファローズ』の皆さんは、11月に愛媛県松山市にて開催予定の本大会で、燕市の代表として戦います。遠く離れた燕市から応援しています！！



猛暑の中、どのチームも頑張りました。



燕市地域おこし協力隊
 くぼ ひなの
 久保 陽菜乃